



なるほどポイント

水道料金は、それぞれのまちで設定する水道料金と、水の使用量に応じて支払います。使用量は、このように水道メーターを「検針」して調べられています。一般的には、2か月ごとに検針し、2か月分の水道料金と下水道使用料をあわせて徴収されています。

低額水道料金ランキング

1	赤穂市	367円
2	小山町	384円
3	沼津市	460円

高額水道料金ランキング

1	羅臼町	3360円
2	上天草市 大矢野地区	3132円
3	伊達市(福島県)	3078円

※家事用で1か月に10m³使用した場合の全国最高・最低料金
(日本水道協会「水道料金表」平成31年4月1日現在より)



写真提供：ヴェオリア・ジェネツ

全国で9倍の差

水道は基本的に「市町村」(「まち」)ごとに経営され、水道料金もまちごとに設定されているため、全国各地で差があります。例えば10立方メートル(一万リットル)を使

うときの水道料金は、全国平均では1555円ですが、全国で最も高い北海道羅臼町では3360円、最も安い兵庫県赤穂市では367円と、

どう決まる？水道料金

9.2倍もの差があります。まちごとに値段が違う理由は、水道料金の使い道である「水道水をつくって送るためにかかる費用」が、まちによってまったく異なるからです。

手がかかるほど：

例えば水源がどれだけきれいかわたっているかによって、きれいにするための薬品等にかかる費用が変わります。ま

た、水源から浄水場、浄水場からまち、家同士の距離が遠いか近いかによって水道管の長さや太さはさまざまです。水道管は古くなれば新しくし、壊れたら直さなくてははいけません。さらにはその道のりがなだらかか、高低差がありポンプの運転が必要かによって、電気代も大きく違ってきます。

つまり条件に恵まれて、少ない手順で水道水を作って送れているまちでは、水道料金を安くすることができま

す。反対に、難しい条件が重なったり、水道を使う家がまばらなまちでは、水道水を作って送るための費用が高かったりして、ひと家庭当たりの水道料金が高くなるというわけです。

水道を支える

実際に、日本水道協会が全国の水道料金を調べた「水道料金表」によると、人口が少ないまちほど、水道料金は高い金額になる傾向があります。日本の人口は今後減っていくため、多くのまちでひと家庭当たりの水道料金負担は大きくなっていくと考えられます。

なるほどポイント コロナで減免

新型コロナウイルス感染症流行により、生活などが厳しくなった人を支援するため、全国のいくつかのまちで水道料金を減免する(割引や無料にする)手立てが行われました。感染予防のため、手洗いやうがいなどで水道水を使うことが増えている中、住民の助けになると考えられます。一方、この手立てをするために、水道管を新しくすることなどに使える貯金をくずしているまちもあります。手立てによって将来の水道に影響がでないよう、慎重な検討が求められています。

その上、水道料金の使い道も、これからますます多くなると予想されます。なぜなら、水道水を作るための施設や設備が古くなっており、新しくしたり、災害に強くなったりするための費用が必要になるからです。

これからの安全で安心な水道水を使うようにするためには、地域に応じた水道料金が必要と言えます。

※このニュースの水道料金のデータは日本水道協会の「水道料金表」(平成31年4月1日)を参考にしています。

人々のくらしを支えるため 「〇〇せずに水道の工事ができます」

問題

〇〇にはいるのは、どれでしょう？

- ① 断水 ② 断熱 ③ 断髪

日本では、1995年の阪神・淡路大震災以降、東日本大震災、熊本地震など、全国各地で大きな地震が多発しています。このため「水道管」を、地震でこわれて水が漏れだしてしまわない「耐震管」に入れ替える工事が進んでいます。まへは水道管工事の間、まわりの家では水が出なくなる「断水」を我慢するのが当たり前でした。大成機工は断水をおこさずに、地震に強い耐震管に交換したり、バルブを設置したりする工法や製品を開発し、各家庭にいつでも確実に水を供給できるライフラインづくりに貢献しています。

「不断水工法」を
キッズニア甲子園で体験しよう→



取材協力：大成機工